

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【社会経済活動の正常化に伴い売上回復の動きがあるものの、原材料価格及び燃料費等の高騰による利益圧迫や人員不足等の影響が続き、多くの業種で業況が悪化した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-23.1（前月-17.9、前年同月-39.2）で、前月比 5.2pt 悪化した。社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、一部の業種では売上の回復が見られるが、長期化する原材料価格及び燃料費等の高騰に伴う利益圧迫が続いており、小規模事業者の多くが利益確保や人員不足に苦慮する様子が伺える。

【製造業】

業況は-18.6（前月-12.8、前年同月-31.4）と前月に比べ 5.8pt 悪化した。受注回復の兆しはあるものの、原材料価格や燃料費等の高騰の中、価格転嫁も十分に進まず利益圧迫が続いている。

【建設業】

業況は-29.5（前月-20.6、前年同月-44.1）と前月に比べ 8.9pt 悪化した。リフォーム等受注は増加傾向にあるが、建築資材の不足や人員確保に苦慮している。

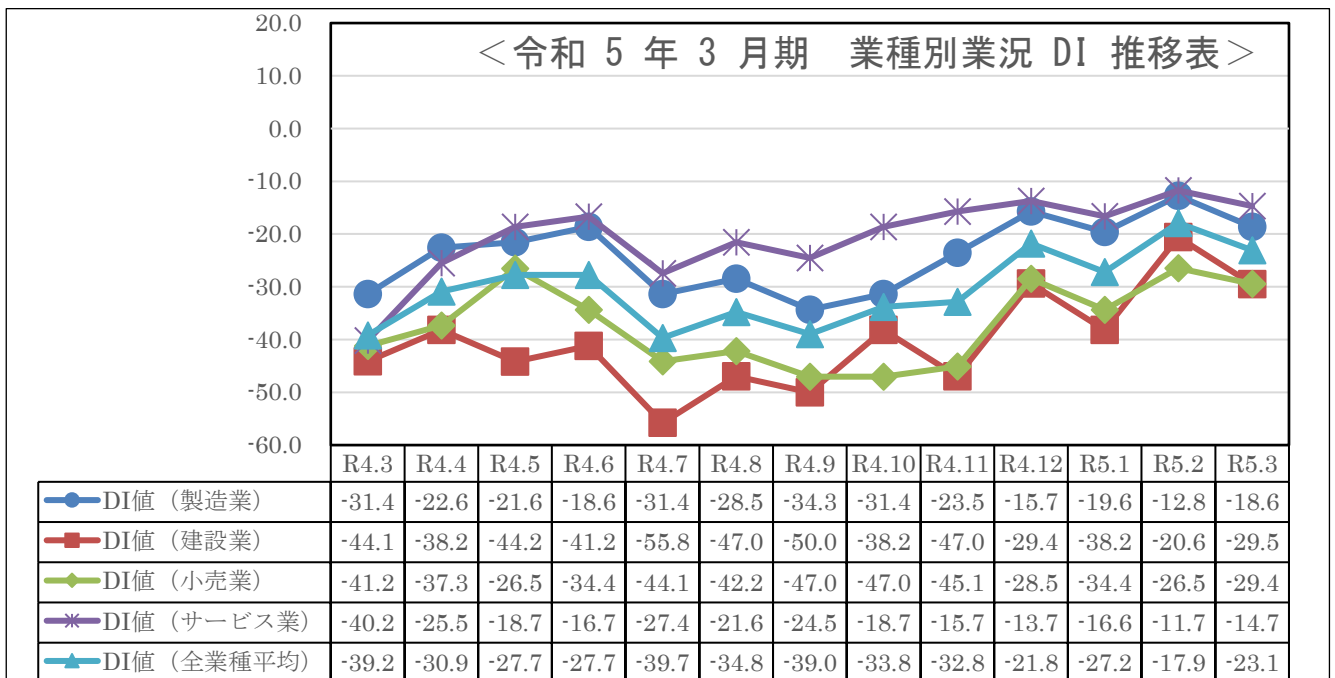
【小売業】

業況は-29.4（前月-26.5、前年同月-41.2）と前月比 2.9pt 悪化した。行動制限の緩和に伴い、食料品・耐久消費財では消費の回復が見られるが、仕入価格や経費の高騰等に価格転嫁が追い付かず利益が圧迫されている。

【サービス業】

業況は-14.7（前月-11.7、前年同月-40.2）と前月に比べ 3.0pt 悪化した。全国旅行支援の継続や人流増加に伴い、一部の業種では業況は改善傾向にあるが、経費増加により、利益が圧迫されている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：名波・増田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・ 食品製造業では管内観光客増加により受注額が前年比で大幅に増加傾向であるが、原材料の値上がりにより利益額が低下傾向にある。（伊豆）
- ・ 原材料の高騰、電気代・燃料費等の高騰が続き、厳しい経営状況が続いている。（富士駿東）
- ・ 生産調整等不安定な状況が続いており、燃料費高騰も含め利益を圧迫している。（中部）
- ・ 受注は増加も従業員が不足。光熱費高騰もあり利益は伸びていない。（中東遠）
- ・ 繊維工業では、受注はあるが部材が手に入らず、燃料費高騰も価格転嫁が進まない。（西遠）

【建設業】

- ・ 受注は増加しているが、人手不足で、着工から完成までに時間がかかっている。（伊豆）
- ・ 分野によっては売上回復が進んでいるが資材が高騰し、人手不足も問題化している。遠方の工事では車両用燃料の高騰があり、資材・人材確保の競争も高まっている。（富士駿東）
- ・ 台風 15 号関連を含め公共工事の受注は増加傾向にあるものの、事業者により受注量の差は広がっている。（中部）
- ・ リフォーム等の需要はあるが、国産材高騰の影響を受け採算や資金繰りが厳しい。（中東遠）
- ・ 職人不足の影響等を要因に業界全体としては仕事がある。材料代、諸経費が上がっているため、利益は圧迫されている状況にある。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業）

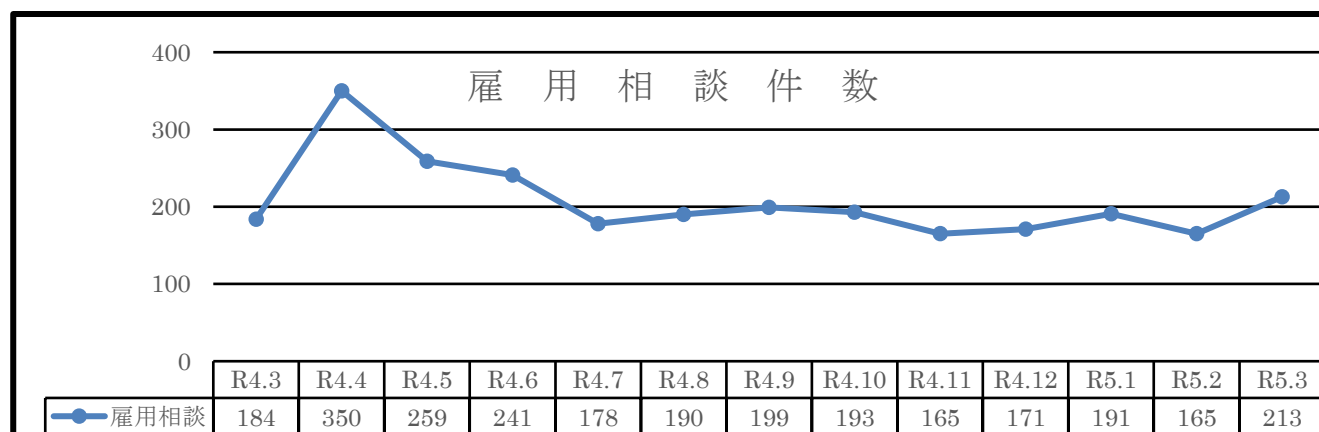
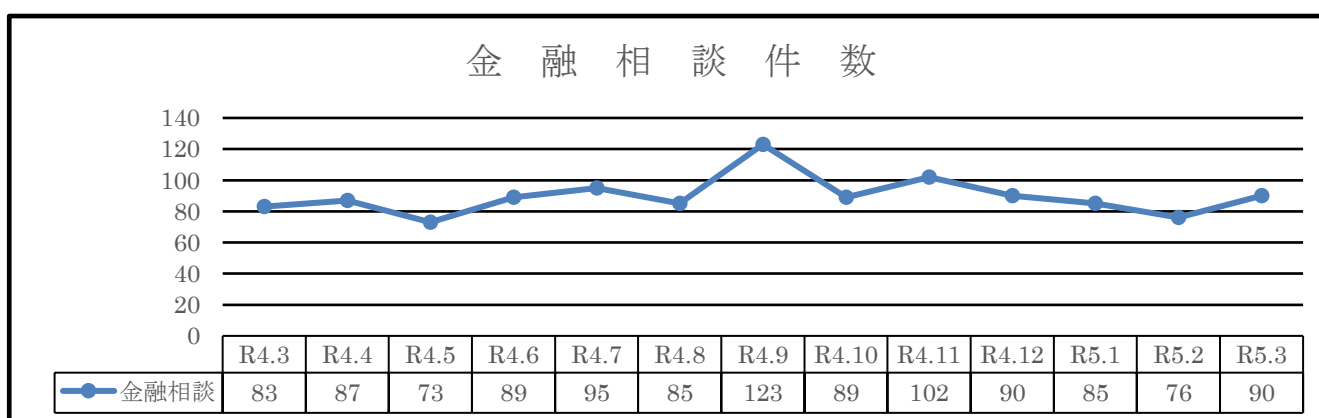
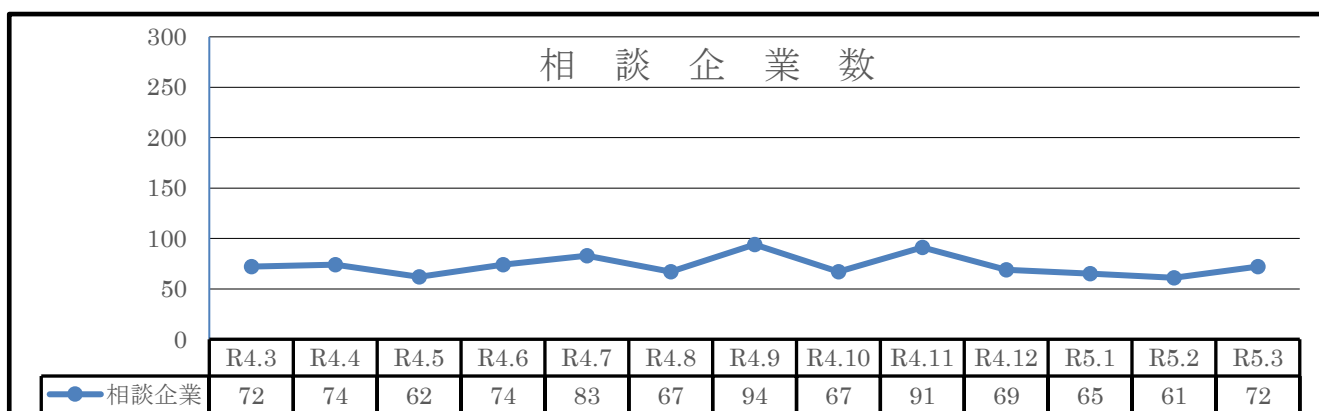
- ・ 衣料品では比較的安価な日用品の仕入価格が物価高騰の影響から上がりつつある。（伊豆）
- ・ 食品では価格転嫁を行う事業者が増えているが、仕入原価高騰が続き部分的な転嫁に留まっている。昔ながらの接客を大事にする店では特に値上げを躊躇している。（富士駿東）
- ・ 仕入、運搬費、光熱費が高騰しているため、売上は増加も利益を圧迫している。（中部）
- ・ 食品の高騰が継続しており先が読めず、値上げが追いつかない状況にある。（中東遠）
- ・ 家電小売では電気代高騰等を影響に、家電製品の買い替えが進んだが、4月から同製品が値上げされたため、売上が鈍化すると予想されている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・ 旅館業では物価高騰の影響は続くが旅行支援の効果もあり、売上は増加傾向にある。（伊豆）
- ・ 春休み需要の時期のため観光客は多く、キャンピングカー等も多く見られ、観光需要に関連する事業者は多忙であった。（富士駿東）
- ・ 洗濯業及び理美容業は、光熱費の上昇により利益が圧迫されている。（中部）
- ・ 消費者のコロナに対する意識変化もあるのか、少しずつ客足が戻ってきている。（中東遠）
- ・ 各種行事が自粛されていた昨年に比べると売上は増加しているが、コストが全て上昇しているため、採算が好転まではいかない。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	72	61	11
【金融相談件数】	90	76	14
新規融資(借換えを除く)	40	39	1
既存債務の借換え	46	27	19
借入れ条件変更	2	2	0
消費者金融・商工ローン関連	0	1	-1
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	2	7	-5
【雇用相談件数】	213	165	48



【金融相談】

金融相談件数は90件と前月(76件)に比べ14件増加した。前月に続き、原材料高騰等の影響や新型コロナに係る各種支援の終了等に伴い、新規融資・資金繰り等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・飲食店において、原材料高騰の影響で融資を申し込む案件があった。これから増加していくのではと危惧している。(伊豆)
- ・コロナ特別貸付が3月末で終了予定であったため、駆け込みの相談があった。(富士駿東)
- ・コロナ特別貸付の返済据え置きが終了する事業者が増えており、今後の対応方法に関する相談が増加している。(中部)
- ・仕入資金、諸経費支払資金等の当面の運転資金を確保することで、資金繰り改善を図る等の相談案件があった。(中東遠)
- ・建設業から、従業員が退職したことによる工期長期化や、材料仕入価格の高騰による運転資金の申し込みがあった。またコロナ禍では控えていた設備の更新等で、不具合が発生し買い替えるために資金が必要といった相談があった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、213件と前月(165件)に比べ48件増加した。前月に続き、人手不足の対応に向けた高齢者や外国人労働者の雇用等に関する相談が多くあった。

<経営指導員コメント>

- ・開廃業(承継含む)に伴う手続きが目立っている。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の経過措置の終了、キャリアアップ助成金等の助成制度、令和5年度の制度改正(雇用保険料率の引き上げ等)を適宜情報案内している。(富士駿東)
- ・高齢者雇用に係る社会保険の手続きについて相談があった。(中部)
- ・短時間労働者の諸手当、雇用保険加入について相談対応を行った。(中東遠)
- ・慢性的に人材不足に悩んでおり、外国人の雇用に活路を見出そうと行政による支援を取り入れ雇用したが、すぐに退社してしまい、文化の違いを改めて痛感する事となった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3/26(日)に「河津寄って軽トラ市」を開催した。(河津町)
- ・3/19(日)に「伊豆縦貫自動車道 河津下田道路」が開通した。これまで町外者が町中心部を通るルートから山間部を通るルートになったことで、今後は町外者の町内店舗での消費行動にどの程度影響が出るか危惧されている。(河津町)
- ・3/17(金)に「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」をさわやかアリーナで開催した。企業62社、学生201人が参加し、企業も学生も満足度は高かった。以前は大学生向けにしかなかった企業が、高校生採用のために参加していた。(浅羽町)
- ・4/16(日)に「舞阪えんばい朝市」を開催し、多くの来場者で会場が賑わった。5/21(日)も開催予定である。(浜名)
- ・観光協会主催の事業「牡蠣小屋」は着地型観光の試みとして行っている。今年は牡蠣が豊漁であり、リピーターにも多く来場いただいた。(新居町)